

# 中央公民館だより

平成 27 年 2 月 1 日発行  
三原市中央公民館  
三原市円一町 2 丁目 3 番 1 号  
TEL 0848-64-2137 FAX 64-0137

平成 26 年度

## 三原市中央公民館 作品展示・学習発表会説明会開催

去る 16 日、本年度の作品展示・学習発表会の説明会を開催しました。発表会は、中央公民館で活動しておられる各団体を対象に、日頃の学習成果の発表の場とするため、市民の皆さんに公開いたします。

当日は代表者の皆さんにお集まりいただき、申込み方法や展示・発表の仕方等について説明させていただきました。

昨年度と大きく異なる点は、安全面やその他を考慮して開催場所を中央公民館のみに限定したことです。これに関わっては、出演・出品者や来館者の皆様に大変ご不便をかけることとなりますが、何卒趣旨をお汲み取りいただき、ご了承くださいませようよろしくお願い申し上げます。

作品展示・学習発表会は、次の要領で開催いたします。この一年間の労苦の結晶を是非ともご覧ください。

**とき** 作品展示：平成 27 年 3 月 7 日(土) 9 時～17 時  
8 日(日) 9 時～16 時  
舞台発表：平成 27 年 3 月 8 日(日) 9 時 30 分～12 時  
**ところ** 三原市中央公民館 1～3 階 (予定)  
※舞台発表は中講堂にて



## 惜別!! 中公主催講座 発展的閉講 それぞれの歩み

マナビくんの  
情熱講座



この 3 月をもって、中央公民館主催の 7 講座が関係者の皆さんに惜しまれながら幕を閉じることになりました。長らく講師を務めてくださいました諸先生方のご労苦に感謝申し上げますとともに、本館をご利用いただき多彩な学習活動を展開していただきました受講生の皆さんに厚くお礼申し上げます。

これを機に、そのうちの 2 講座につき、これまでの取り組みを振り返っていただきました。

### “感動を伝える写真講座”

主催講座で常に 40 名以上の受講生を擁し、長きに亘って特色ある活動を続けてこられた『感動を伝える写真講座』は、今年度をもって自主講座に移行することになりました。

大所帯を熱血して東ねてこられた代表の福久勝彦さんに、昔日の活動を思い起こし、併せて、今後の抱負についても話していただきました。

過ぎてしまえば早いもので、あっという間でした。受講生が 40 人から 50 人を超え、人生経験も十分な人たちの集まりで、出気味の人、引き気味の人、考え方もそれぞれです。

バランスを取りながらの運営をするにはと、まず明朗会計は当たり前で、一番大切にしたのは、“公平に運営する”…このことをモットーとして心がけたのが良かったと思っています。

4 月 1 日より自主講座『浮城クラブ』として出発しますが、大人の皆さんの集まりですし、下江講師も引き続き受けもらえることになり、今までどおりの運営ができると思っています。

27 年度早々 4 月 10 日より三原市全体の各写真クラブ、学生さんとで合同写真展の開催が決まっており、三原市の文化向上の一翼を担っていきたいと思います。(福久)



# “脳いきいきアート”

連続講座にて宮下光子先生に3年間ご指導いただきました、脳いきいきアート（臨床美術）＝クリニカルアートが終了します。先生は臨床美術＝“意欲と潜在能力を引き出すもの”と活字にすると硬く感じますが、「いかにプロセスを楽しんでいただくかなんです。」とサラリとおっしゃいました。

大人になると感動の右脳が、理性の左脳ばかりに支配され、上手に描きたい、仕上げたいと優劣ばかりが気になります。「アートは失敗を恐れず、“笑えてなんぼ”、“楽しんでなんぼ”、はじめてはらずして自己肯定感を導き出し、心を開いて自信につなげ、生きる意欲が増えていけたらいいんです。」先生は楽しく、あっさりと話されますが、制作活動を通して多くの方の心を救っていられていると感じました。

先日講座におじゃましますと、だるまの制作中でした。制作にあたっては、五感をフルに使い、描くものや創るものの声やにおいを感じ、加えて背景にある思い出や語らいも交え、表現したい気持ち・制作の意欲を引き出しておられました。皆さん心を解放され、笑い声に満ちたる制作でした。

最近先生もびっくりされたことがあったそうです。奥様を亡くされ、塞ぎがちだった方が、脳アートをきっかけに前向きな気持ちになり、意欲的に新しい取り組みを始められ、「びっくりしてるのよ～」とお顔をほころばせ語っておられました。

講座で取り組まれた作品をご紹介します。尚、3月の中央公民館作品展示会でも出展されますので、是非ご覧下さい。



## 2月の体験講座開設予定

講座名	開催日時	対象	受講料 材料費	持参物	定員	申込期間
お手軽編集講座 「あらゆるメディアからのデジタル化」	2月14日(土) 9:30～15:00	大人	受講料 100円 材料費 100円	デジタル化したいメディア(写真も含む)	10人	2月2日 ～2月13日
日常に活かす 一輪挿しの妙技	2月16日(月) 10:00～11:30	大人	受講料 100円 材料費 900円	一輪挿し、身近な器、花バサミ、新聞紙一日分	20人	2月2日 ～2月12日
目からウロコの減塩 料理(高血圧予防)	2月20日(金) 10:00～13:00	大人	受講料 100円 材料費 600円	米半合、エプロン、三角巾、手拭タオル、ふきん、筆記用具	24人	2月2日 ～2月13日

### 編集後記

古来、地球上において、幾多の文明の盛衰が繰り返されてきました。荒廃した砂漠の中にも、ある時、突如として姿を現し、限られた時期に繁栄を極めた後、忽然と消え去ったかと思われるような形骸の認められる遺跡も存在します。

しかし、研究者がよくよく調査してみると、何もないうちに急に勃興し、何の脈絡もなく廃墟と化したのではないということです。ある文明が出現する過程では、単独ではなく必ず複数の系統の文明の流れが関与し、それらが融合する形で初めて一つの文明が成立するそうです。逆に廃れていく背景には、何らかの要因による外部との断絶があるのではないかと思います。

英国のサイエンス・ライター、マット・リドリーは、人類史上アイディアが出合い、交わって新たなアイディアを生み出すことこそ人類進歩の原動力であったと論じ、個人ではなく、集合的な脳の賢明さが重要なのだと説きます。いわゆる“知の交換”、“集合脳”と呼ぶ考え方です。

これは、何も文化論や考古学、科学といった大枠の学問のみで語られるものではないような気がします。私たちの仕事や日常生活においても然りではないでしょうか。公民館活動も集合脳を活用し、さらなる展開を期したいと思います。